

News Release

自宅のように過ごせる家族葬ホール 10月3日(土)オープン

『家族葬のファミリー 旭別館(宮崎県宮崎市)』

宮崎市内 20 店舗目 内覧会・家族葬セミナーも開催

株式会社家族葬のファミリー(本社:東京都港区、代表取締役:中道康彰)は、グループ累計85店舗目となる家族葬ホール「家族葬のファミリー旭別館(宮崎県宮崎市)」を2020年10月3日(土)にオープンします。

近年のお葬式で、宮崎市内でも急速に普及している「家族葬」の専用葬儀場です。当社は、家族葬を手掛けて20年の葬儀社であり、新ホールは宮崎市内で20店舗目の記念すべき直営施設となります。市内に2店舗ある、「もうひとつの自宅」をコンセプトにした別館タイプの最新モデルです。

10月3日(土)~31日(土)まで、毎日「オープニング内覧会」を行います。また、10月の限定3日間は、ラジオパーソナリティの坂井淳子さんを招いて「家族葬セミナー」も実施します。



オープニング内覧会と家族葬セミナーを開催します。取材をご希望の方は広報事務局までお問い合わせください。

■ 約1カ月間に渡るオープニング内覧会と家族葬セミナー

10月3日~31日まで、オープニングイベントを実施します。新型コロナウイルス対策の一環で来場分散を図るため、イベント期間を約1ヵ月と長めに継続いたします。「オープニング内覧会」として、期間中毎日、予約不要で誰でもホールをご見学いただくことができ、ご見学者にはプレゼントをご用意しております。

10月10日(土)、13日(火)、24日(土)には、ラジオパーソナリティの坂井淳子さんを招いて、「家族葬セミナー」を行います。毎回予約で満席になる好評企画です。(事前予約制・各日定員10名)

■ 住み慣れたご自宅のようにくつろげる「1日1組・貸切」のセレモニーハウス

「ファミリー旭別館」は、2階建ての一軒家のような住宅型ホールです。お別れの時に訪れる、もうひとつの自宅をコンセプトにした別館タイプの最新ホールです。

建物の内部には和モダンの落ち着いた内装を施し、1階のエントランスから2階の遺族控室まで心静かに過ごせる空間が広がります。別館タイプ最大の特徴は、1階にあるお別れの間形式祭壇を設置していないことです。ご家族の希望に応じた「家族葬」が行えるつくりになっています。また、遺族控室は2階へと分けられているため、プライベートな空間が保てます。

「家族葬」は、多くの参列者が集う儀礼儀式とは異なり、ご家族や親しい人たちと比較的自由な形で見送るお葬式です。当社の家族葬ホールは適度に小規模で、自宅のようにくつろげることをコンセプトとしています。また、他の誰にも気兼ねせずに過ごせる「1日1組」の貸切です。最期の時までそのご家族ならではの過ごし方ができます。

■ 自宅葬から一般葬、そして家族葬へ。葬儀の形は常に社会の変化を映し出してきた

葬儀の形はその時々世相や家族のあり方を映しながら、進化を続けています。戦後主流であった自宅葬は一般葬に置き換わり、現在は家族葬へのシフトが進んでいます。(下表参照)

◇ 葬儀形式の変遷、その時代背景

時代	主流の葬儀形式	葬儀の概要と時代背景
戦後～昭和中期	自宅葬	通夜・葬儀・告別式を含めて、自宅で行うお葬式。場合によっては寝ずに儀式の全てを取り仕切るため、遺族の負担が大きい。一億総中流化・核家族化・女性の社会進出などで激減。
昭和後期～平成	一般葬	専用の葬祭場で行われ、多くの参列者が訪れるお葬式。産業構造の変化や都市部への人口流入が進み、葬儀には親類縁者・近隣住民のみでなく、会社関係者などが多く参列するように。それに合わせて大規模な葬祭会館も全国に数多く建設された。
平成終盤～令和	家族葬	家族と親しい人で行う比較的小規模で自由度の高いお葬式。平均寿命の伸長等を背景に都心部を中心に広がっていたが、新型コロナウイルス感染症の大流行により、全国的に普及が加速。

大切な家族を長らく暮らした愛着のある場所から旅立たせてあげたい。しかし、昔ながらの自宅葬は家族等の負担が大きく難しい…。老老介護ならぬ“老老葬儀”も増える中、生活圏内における手頃な家族葬ホールの存在は、地域住民の安心感につながるものと考えます。家族葬のファミリーは、発展を続ける宮崎市に所縁のある方々の旅立ちをお手伝いし、市が掲げる「活力と緑あふれる太陽都市・・・みやぎ」の次世代につなぐまちづくりに貢献してまいります。

■ 高齢化が進む宮崎市のエリア内事情 75歳以上人口 54,310人。20年前から倍増

宮崎市の75歳以上の後期高齢者の人口比率は全国平均の14.2%は下回るものの、20年前の19,762人(市内人口比6.5%)から54,310人(同13.6%)へ人数、人口比率共に倍増しています(当社調べ)。

ファミリーの宮崎支社の葬儀実績は1,493件(2019年度)と、1年間で前年度比12.7%増加し、既に多くの地元の皆様にご利用いただいています。さらに増えつつあるご高齢の皆様をサポートし、よりお近くで地域に密着したご葬儀を執り行うために、宮崎市内20店舗目の新規出店を決めました。長年当地にある「みやそう会館」など大規模で利便性のいいホールに加えて、この小さくて温かみのある旭別館の出店で、いつどのような時にも選ばれる「地域いちばんの家族葬」をご提供し続けていく計画です。

参考：宮崎市 HP 人口・世帯数の推移(年1回集計_推計人口)より

<https://www.city.miyazaki.miyazaki.jp/city/statistics/population/1069.html>

■ 店舗概要

- 店舗名 : 家族葬のファミリー旭別館
 オープン日 : 2020年10月3日(土)
 住所 : 宮崎県宮崎市旭2丁目4番22号
 アクセス : <電車>
 ・JR宮崎駅徒歩11分
 <バス>
 ・宮交バス「瀬頭2丁目」バス停徒歩1分
 <車>
 ・瀬頭交差点からJR宮崎駅方面へ車で1分
 裁判所前交差点そば
 駐車場 : 15台
 電話番号 : 0120-365-024



■ 家族葬の専門葬儀社として設立 20 周年。3 月に親会社（持株会社）が上場。

家族葬のファミリーは、2000 年に第 1 号の家族葬ホールを出店し、今年（2020 年）で設立 20 周年を迎えました。当初から「家族葬」をブランド化し、家族の絆が深まるご葬儀を提供し続けています。直営ホールのみならず、全国にある 1,000 箇所の斎場で 10 万件以上のご葬儀実績があります。

直営ホールは、1 号店の出店から現在（7 月末）までに撤退した店舗はありません。これにより、顧客への葬儀サービスの安定供給と地域雇用に寄与しています。

事業の成長力を認められ、今年 3 月には親会社（持株会社）の「きずなホールディングス」が東証マザーズに上場しました。7,000 社以上あるとされる葬儀社で 5 社目の上場企業です。

将来的には、47 都道府県への出店と葬儀サービスの提供を目指しています。

■会社概要

株式会社家族葬のファミリー

- 【設立】 2000 年 7 月
- 【代表】 代表取締役 中道 康彰
- 【住所】 東京都港区芝 4-5-10 ユニゾ芝四丁目ビル 7 階
- 【連絡先】 TEL 03-5427-6438（代表）／FAX 03-5427-6433（代表）
- 【従業員】 441 名(2020 年 5 月末日時点、出向者を除き、パート・契約社員・派遣社員含む)
- 【資本金】 100,000,000 円
- 【売上高】 7,875 百万円（2020 年 5 月期）
- 【事業内容】 ・葬儀葬祭に関する一切の業務
・フランチャイズシステムによる葬儀葬祭事業の展開
・「お葬式を家族のものに」のローガンのもと、
1 日 1 組限定の「家族葬のファミリー」及び邸宅型家族葬の「弔家の灯」を提供
・これまでの葬儀の価値観にない「家族の意向を汲んだ、家族のための家族葬」を提供
- 【URL】 <https://www.famille-kazokusou.com/>

株式会社きずなホールディングス

- 【設立】 2017 年 6 月
- 【代表】 代表取締役社長 兼 グループ CEO 中道 康彰
- 【住所】 東京都港区芝 4-5-10 ユニゾ芝四丁目ビル 7 階
- 【連絡先】 03-5427-6432
- 【従業員】 505 名（グループ連結、2020 年 5 月末日時点、臨時雇用者含む）
- 【資本金】 153,360,000 円（2020 年 7 月 15 日現在）
- 【証券コード】 東京証券取引所マザーズ市場 7086
- 【売上高】 7,676 百万円（グループ連結、2020 年 5 月期 IFRS 基準）
- 【事業内容】 ・グループ全体の経営戦略に関する立案、推進ならびに管理
・葬儀葬祭に関する一切の業務
- 【URL】 <https://www.kizuna-hd.co.jp/>

<報道関係者お問い合わせ先>

家族葬のファミリー 広報事務局

TEL : 03-5411-0066 FAX : 03-3401-7788 E-mail : pr@netamoto.co.jp

担当 : 小室（携帯 : 090-5537-8309）、杉村（携帯 : 070-1389-0175）